



組合の発展のために 力を結集しましょう

理事を引き受けて

最初、理事のお話をいただいた時は正直驚きました。ありがたいお話ですが、私の気持ちはやじろべえのように揺れ動いていました。農家の人口が減少し、私たちの地区も高齢化に拍車がかかり、女性部への関心も薄れている中、何を作り上げたいか、ど

こうし ゆりこ 組織代表理事 合志 百合子 65

趣味

家庭菜園(ブルーベリー、シャインマスカット)、韓流ドラマを観ること、お酒を飲むこと、温泉

プロフィール

農家に嫁いで37年。夫(孝信さん)と大津町でサツマイモを栽培する。2023年 組織代表理事(女性部)に就任。



う対応したらいいか、とても責任が重いなと思いました。悩む私の背中を押してくれたのは、先輩女性理事の方々の女性部に対する熱い思いと、私の大好きな農家作家の山下惣一さんの著書にあった二節でした。

出る杭は打たれる

出過ぎた杭は打たれない

しかし、出ない杭は腐る

何も行動を起こさずに、外野から眺めているだけでは意味がないという事だと思い、一歩前に踏み出す勇気が湧きました。

研修会で20年ぶりに女性部会員の前であいさつをさせていただいた時、昔を思い出し、嬉しさと懐かしさで胸がいっぱいになりました。しかし同時に、若手が育っていないという深刻な現状を目の当たりにして、課題を突き付けられたようでした。

若い人達に魅力を発信し、繋がっていくにはどうしたらいいのか。皆さんの声をぜひお聞かせください。聞く力を大切にしていきたいと思っています。多様性の時代でもあるので色々な発想・視点でご提案いただきたいです。

組合を発展させるために、組合員・役員・職員体となって頑張ります。特に女性職員の活躍に期待しています。



孝信さんとサツマイモの出荷作業

地域農業を守りたい



農家に嫁いで37年。私は夫とサツマイモを生産しています。以前より規模を縮小しましたが、毎日ラジオを聴きながら夫と向かい合っておしゃべりしながら箱詰め作業をしています。菊池地域では、住宅地などが増え、農地が減少する中で地域の方々に理解を得ながら頑張っている農家さんがたくさんいます。私もできるだけ農業を続けていきたいですし、この地域の素晴らしい自然を次の世代に残したいです。息子にもできれば農業を継いでほしいと願っています。

私たち家族がめざしている農業経営は、成長よりも安定、拡大よりも持続、現在よりも未来を大切にすることです。そこそが、競争でも対立でもなく、協同の力だと思えます。

食えることは生きること。大切な産業である農業。みんなで菊池地域の農業を守っていきましょう。